



# 島根県理学療法学会 2026 学術研修大会

6/21【sun】

会場

島根県立中央病院大研修室

10:00～10:40



講義①：内部障害領域専門部会 須山 朋子 (島根産業保健総合支援センター)

すべての領域・病期に必要な循環器の基本的アセスメント  
～循環器に問題がある患者を目の前に、何をどう考えれば良いか?～

10:40～11:20



講義②：神経領域専門部会 佐々木翔太 (島根大学医学部附属病院)

脳卒中理学療法に従事する人のための最新フレームワーク  
～脳卒中のリハビリテーション、今、最も適切だと考えられる方略は?～

11:30～12:10



講義③：職能局 廣瀬強志 (津和野共存病院)

理学療法士のキャリアデザインに向けた活躍の指針  
～この先どうしよう?に答える、理学療法士のキャリア選択の可能性～

13:00～14:00



その他：①島根県理学療法士会 総会  
②カフェ交流時間あり

14:00～14:40



講義⑤：運動器領域専門部会 山科 俊輔 (島根大学医学部環境保健医学講座)

手軽にできる動作分析、データ分析のコツ  
～DX時代に取り組む簡便な#見える化による歩行フィードバック～

14:50～15:30



講義④：島根県理学療法士連盟 高見由美 (えだクリニック整形外科・リハビリテーション科)

職場、地域の問題を変えるための“要望”のTips  
～もっとこうしたら良いのに、をカタチにするためのコツ～

15:40～16:20



講義⑥：スポーツ理学療法推進委員会 橋本 康平 (島根県島根かみあり国スポ・全スポ局)

「スポーツに携わりたい」を叶えるためにできること、スポーツ振興課競技力向上推進室  
～島根県における活動の枠組みと参加方法、そしてその準備～

## 【日程表】

9時30分 受付開始

9時50分 開会・オリエンテーション

10時00分 講義①：『内部障害領域専門部会企画』

「すべての領域・病期に必要な循環器の基本的アセスメント

～循環器に問題がある患者を目の前に、何をどう考えれば良いか？～」

講師：須山朋子先生（島根産業保健総合支援センター）

10時40分 講義②：『神経領域専門部会企画』

「脳卒中理学療法に従事する人のための最新フレームワーク

～脳卒中のリハビリテーション、今、最も適切だと考えられる方略は？

講師：佐々木翔太先生（島根大学医学部附属病院）

11時20分 休憩（10分）

11時30分 講義③：『職能局企画』

「理学療法士のキャリアデザインに向けた活躍の指針

～この先どうしよう？に答える、理学療法士のキャリア選択の可能性～」

講師：廣瀬強志先生（津和野共存病院）

12時10分 昼休憩：（50分）

13時00分 島根県理学療法士会：総会 **【\*島根県士会会員のみ参加可能】**

14時00分 講義④：『運動器領域専門部会企画』

「手軽にできる動作分析、データ分析のコツ

～DX時代に取り組む簡便な#見える化による歩行フィードバック～」

講師：山科俊輔先生（島根大学医学部環境保健医学講座）

14時40分 休憩（10分）

14時50分 講義⑤：『島根県理学療法士連盟企画』

「職場、地域の問題を変えるための”要望”のTips

～もっとこうしたら良いのに、をカタチにするためのコツ～」

講師：高見由美先生（えだクリニック）

15時30分 休憩（10分）

15時40分 講義⑥：『スポーツ支援委員会企画』

「『スポーツに携わりたい』を叶えるためにできること

～島根県における活動の枠組みと参加方法、そしてその準備～」

講師：橋本康平先生（島根県 島根かみあり国スポ・全スポ局 スポーツ振興課競技力向上推進室）

16時20分 閉会

## 会場案内

- 駐車場は外来用をご利用ください。
- 開催当日は休日のため、正面玄関は閉鎖しています。
- 時間外入口から入り、右手すぐのエレベーターより2階にお上がりください。

### 時間外入口

- 病院本館南側にあります。



- 研修会会場の大研修室内は飲食禁止となっております。廊下や外来ホール等での飲食をお願いします。
- 昼食については、1階の売店（ファミリーマートラピタ中央病院店）やドトールコーヒーショップが利用可能です。病院近隣にも飲食店がありますのでそちらもご利用ください。
  - ▶ 営業時間（日曜日）
    - ◇ ファミリーマート ラピタ中央病院店 8時～21時
    - ◇ ドトールコーヒーショップ 10時～15時

10:00～10:40 内部障害領域専門部会企画



## すべての領域・病期に必要な循環器の基本的アセスメント

～循環器に問題がある患者を目の前に、何をどう考えれば良いか？～

島根産業保健総合支援センター  
須山 朋子 先生

### 【講演内容】

循環器疾患患者を担当した際、「この息切れは危険なのだろうか?」「今日は運動して良い状態なのだろうか?」と迷った経験はないでしょうか。

循環器領域は、検査や略語も多く、「難しい」「自信がない」と感じやすい分野です。しかし実際には、呼吸数、SpO<sub>2</sub>、血圧、浮腫、皮膚温など、普段の臨床で確認している情報からでも、対象者の循環状態を考えることができます。

本講習会では、循環器疾患の有無に関わらず、日々の臨床で活用しているフィジカルアセスメントをもとに、「何をみて、どう考えるか」を整理しながら、循環の基本的アセスメントについて解説します。情報収集から臨床推論、介入判断までを“考え方の地図”として整理し、症例提示やグループディスカッションを通して、「自分ならどうするか」を参加者自身が考えられる構成としました。

「循環器は特別な領域」と構えるのではなく、「普段みている患者を少し違う視点でみてみる」ことが、本講習会の第一歩です。講習会終了後、患者を前にした時に、「とりあえずバイタルを測る」だけではなく、「なぜ今この反応が起きているのか」を考えられるきっかけとなれば幸いです。

## 経歴

### 【受賞歴】

- 第29回心臓リハビリテーション学会学術集会 症例演題優秀賞受賞
- 第12回日本循環器学会 コメディカル賞(看護・薬剤・リハ部門) 奨励賞
- 第113回日本循環器学会中国地方会 コメディカル奨励賞

### 【資格】

- 心管理理学療法専門理学療法士
- 心臓リハビリテーション指導士
- 両立支援コーディネーター



10:40～11:20 神経領域専門部会企画

## 脳卒中理学療法に従事する人のための最新フレームワーク

～脳卒中のリハビリテーション、今、最も適切だと考えられる方略は？～

島根大学医学部附属病院  
佐々木 翔太 先生

### 【講演要旨】

本セッションでは、脳卒中理学療法に携わる若手理学療法士を対象に、近年の知見を踏まえた最新のフレームワーク（考え方）を整理し、臨床で迷わず判断するための思考過程を学ぶことを目的とします。評価結果の捉え方や予後予測の立て方を整理し、それを治療戦略へとつなげる思考プロセスを中心に解説していただき、急性期から生活期までを通して活用でき、明日からの臨床に自信をもって取り組むための基盤づくりを目指します。

### 【講師からのメッセージ】

ご依頼いただいた講演要旨にあるような最新フレームワークを一つご提示できれば明快かもしれませんが、AI時代においてもなお脳卒中リハビリテーションは多様かつ複雑であり、単一のフレームワークとして整理することは容易ではありません。本講演では、複数のフレームを組み合わせ、できるだけ臨床における思考プロセスを明示することを試みます。この時間を終えた後すぐに「悩まなくなる」「自信がつく」ということはないかもしれませんが、視点が増え、悩むべきポイントが明確になることで、より妥当性の高い理学療法実践につながるきっかけになればと思います。

## 経歴

---

### 【職歴】

2017年 島根大学医学部附属病院リハビリテーション部(2021年～Stroke care unit 専任理学療法士)

### 【学歴】

2017年 県立広島大学 保健福祉学部 理学療法学科 卒業

2022年 島根大学大学院 医学系研究科修士課程 修了 修士(医科学)

### 【受賞歴】

第17回島根県理学療法士学会優秀賞

第18回島根県理学療法士学会最優秀賞

### 【資格】

脳卒中認定理学療法士

物理療法認定理学療法士

### 【社会活動】

島根県理学療法士会学術局神経領域専門部会 代表運営幹事

日本神経理学療法学会島根地方会 リーダー

11:30～12:10 職能局企画



## 理学療法士のキャリアデザインに向けた活躍の指針

～この先どうしよう？に答える、理学療法士のキャリア選択の可能性～

津和野共存病院  
廣瀬 強志 先生

### 【講演内容】

「この先、どうしよう？」そう感じたことのある理学療法士は少なくないはずです。将来への漠然とした不安や迷いは、ご自身のキャリアに真摯に向き合っている証拠でもあります。

キャリアの語源はラテン語の「轍（わだち）」。「計画して作るものではなく、歩んだ結果としてできるもの」です。現在、理学療法士の活躍の場は臨床にとどまらず、地域や行政、スポーツ、産業保健など多方面に広がってきています。選択肢が広がるからこそ、大切になるのが「なぜ自分はこの仕事をしているのか」という自身の軸であり、その先にある「自分はどうかありたいか」という問いです。

その軸を支えるのが「自分を大切にす」視点です。島根県理学療法士会のミッション「あなたの"大切"を彩る」は、対象者だけでなく、理学療法士であるあなた自身へも向けられています。自分のパレットが彩り豊かであってこそ、誰かの"大切"を彩ることができます。

人生は、出会いと選択の連続です。日本理学療法士協会や島根県理学療法士会には、その出会いと選択の機会がたくさん用意されています。本日の研修会が、これからの歩みやご自身のキャリアについて考えてみる、そんなきっかけになれば幸いです。

## 経歴

---

### 【職位】

津和野共存病院リハビリテーション課課長

### 【資格】

地域理学療法認定理学療法士

管理・運営認定理学療法士

14:00～14:40 運動器領域専門部会企画



## 手軽にできる動作分析、データ分析のコツ

～DX時代に取り組む簡便な見える化による歩行フィードバック～

島根大学医学部環境保健医学講座  
山科 俊輔 先生

### 【講演要旨】

本セッションでは、「手軽にできる動作分析」をテーマに、歩行評価の臨床的意義や歩行パターン評価の考え方について整理したうえで、動画データを活用した簡便な定量化手法について紹介する。特に、マーカレスモーションキャプチャ技術（OpenPoseなど）を用いた歩行分析を例に、動画から座標情報を取得し、歩行中の関節運動や左右差、歩行調和などをどのように数値化するかについて、基本的な考え方から実践例（デモあり）まで解説する。さらに、得られたデータを単なる測定結果として扱うのではなく、リファレンスデータや臨床判断指標として活用する可能性についても紹介し、DX時代における新たな歩行フィードバックや動作分析のあり方について考える機会としたい。

### 【講師からのメッセージ】

動作分析というと、「難しい」「特別な機器が必要」というイメージを持たれることも多いかもしれませんが。しかし実際には、スマートフォン動画や簡便なツールを活用することで、日常臨床の中でも動作を「見える化」し、評価につなげることが可能になってきています。本研修では、動作分析の技術そのものだけでなく、「なぜその動きになるのか」を考える面白さや、データを通して動きを捉える楽しさも共有できればと思っています。「動作分析って面白い」「自分でもやってみたい」「意外と身近に実践できるかもしれない」と感じていただけるような研修にしたいと思っています。OpenPoseを使ったデモもやりますので、是非ご参加ください。

## 経歴

### 【略歴】

- ・2011年 朝日リハビリテーション専門学校 卒業
- ・同年 医療法人平病院 理学療法士
- ・2021年 広島大学大学院人間社会科学研究科 研究員
- ・2024年 島根大学医学部環境保健医学講座 助教（～現在に至る）

### 【学位】

- ・博士（保健学）

### 【資格】

- ・運動器認定理学療法士

14 : 50～15 : 30 島根県理学療法士連盟企画



## 職場、地域の問題を変えるための”要望”の Tips

～もっとうしろしたら良いのに、をカタチにするためのコツ～

えだクリニック  
高見 由美 先生

### 【講演内容】

「もっとうしろなければ良いのに」現場で働く中で、そう感じる瞬間はありませんか？その気づきこそが、職場や地域、そして私たちの職域をより良く変えていくための「種」となります。しかし、日々の忙しさや「言っても変わらない」という諦めから、その声を「不満」のまま心に留めてしまうことが少なくないのではないでしょうか。私達、理学療法士は、対象者の動作を分析し、課題を抽出し、ゴールに向けて介入するプロフェッショナルです。このプロセスは、実は組織や地域、さらには社会制度の課題を解決する過程と良く似ています。本講演では、現場で感じる「不満」を、相手に伝わり、組織を動かす「建設的な要望」へと変換するための視点と実践的な Tips を整理します。さらに、職場の改善に留まらず、私たちの働く環境や制度そのものを形作る「政治」や「職域代表議員」の存在を、自分たちの未来を守るための「身近な手段」として捉え直します。小さな一歩が、やがて制度を動かす大きな力になる。専門職としての情熱を「要望」という形に変え、私たち自身の手で、リハビリテーションの未来をより豊かなものへと耕し、一緒に花を咲かせましょう。

## 経歴

---

### 【職位】

えだクリニック整形外科リハビリテーション科統括副院長

### 【社会活動】

島根県理学療法士会理事

15：40～16：20 スポーツ理学療法推進委員会企画



## 「スポーツに携わりたい」を叶えるためにできること

～島根県における活動の枠組みと参加方法、そしてその準備～

島根県 島根かみあり国スポ・全スポ局  
スポーツ振興課競技力向上推進室  
橋本 康平 先生

### 【講演要旨】

本セッションでは、スポーツ分野での活動に関心を持つ理学療法士を対象に、島根県における具体的な活動の枠組みや参加方法について紹介します。「スポーツに携わりたい」という思いがあっても、どこから始めればよいか分からないケースは少なくないと思います。求められる役割や必要な準備、現場での関わり方を事例と共に整理し、地域に根ざしたスポーツ支援の第一歩となることを目指します。

### 【講師からのメッセージ】

皆様、2030年に「島根かみあり国スポ・全スポ」が島根県で開催されるのをご存知でしょうか。この大きな大会の開催に向けて、島根県内のスポーツ支援の取り組みはこれからますます活発化していきます。「スポーツに携わりたい」と考えている方にとって、今がまさに絶好のチャンスです。

本講義では、島根県理学療法士会がスタッフを派遣している「トータルサポート事業」「セレクトサポート事業」「ベーシックサポート事業」や「高校野球サポート」などの具体的な事業内容をご紹介します。また、「経験がなくて不安」という方をバックアップする「スポーツ理学療法推進リーダー制度」のほか、さらなるスキルアップを目指す方に向けて「JSPO-AT（日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー）」の資格取得ルートについても分かりやすく解説します。スポーツ支援の輪が広がるこの貴重な機会を、ぜひご自身の成長に活用してください。

## 経歴

【職歴】 2025年10月～ 島根県環境生活部スポーツ振興課競技力向上推進室アドミニストレーター

【保有資格】 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー

日本赤十字救急法救急員

【活動実績】 国民スポーツ大会帯同トレーナー（バスケットボール競技）

国スポブロック大会帯同トレーナー（バスケットボール競技）

中学校島根県選抜バスケットボールチーム帯同トレーナー

島根インターハイ会場救護スタッフ（柔道競技）

島根県内バスケットボール大会会場救護スタッフ